

## 第 96 回岩手医科大学歯学会総会抄録

日時：令和 6 年 2 月 24 日（土）午後 1 時より

会場：岩手医科大学歯学部 講堂（A 棟 4 階）

### 特別講演

歯科医療革新のカギ：歯の発生・再生分子メカニズムの探求

The Key to Innovation in Dental Medicine:  
Exploring the Molecular Mechanisms of  
Tooth Development and Regeneration

○大津 圭史

岩手医科大学解剖学講座 発生生物・再生医学分野

歯と歯周組織の発生は複雑なプロセスであり、起源の異なる細胞が関わっています。私たちの研究チームは、先端技術を用いて新たな研究モデルを開発し、エナメル芽細胞の分化と機能制御に焦点を当てた研究を展開してきました。

本講演では最近の研究成果を受けて、歯の発生における分子メカニズムに関する新しい知見を共有し、これらが歯科医療の進歩にどう影響を与えるかをお話ししました。私たちが発見した分子メカニズムは、歯の異常だけでなく、一般的な疾患の治療や予防、そして再生医療への応用を可能にするものです。

講演では、基礎研究の成果が臨床医療にどのように統合されるか、さらに国際的な連携によって得られた最新の知見を踏まえた議論を展開しました。研究成果が直面する課題や限界についてもご紹介し、今後の研究の方向性や臨床応用に向けた展望を提案しました。

本講演が、歯の発生に関する深い理解とその臨床応用への可能性を共有する機会となり、歯科医療のさらなる発展へと繋がれば幸いです。最新の研究モデルの開発と技術革新により、歯科医療は革新的な展開を迎えつつあります。この動きは、将来的には個別化医療や予防医療への応用が期待され、私たちの生活の質を向上さ

せる重要な要素となるでしょう。

最後に、私たちの研究が今後も継続していくことで、歯科医療が発展するためのさらなる知見と技術を提供する一助となればと期待しております。研究と臨床の架け橋となり、すべての人々がより良い歯科医療を受けられるよう、貢献を続けて参ります。

### 一般演題

1. 自転車競技能力を向上のための足裏圧測定インソール開発

Novel device of in-sole for measurement of sole pressure to improve cyclist athletic skills

○吉田 匠吾, 清水 智宇\*, 加藤 哲也\*\*\*,  
松尾 小百合\*\*, 森川 和政\*\*,  
熊谷 美保\*\*, 黒瀬 雅之\*\*\*

岩手医科大学歯学部 4 年生, 岩手医科大学歯学部 3 年\*, 岩手医科大学歯学部口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野\*\*, 岩手医科大学生理学講座病態生理学分野\*\*\*

**目的：**自転車の走行は、各種下肢筋の収縮により生み出した力をペダル→クランク→チェーン→タイヤへと伝達し地面に対して仕事を行う。よって、力を発揮する下肢とペダルとの接点となる足裏を介しての力の加え方である“こぎ方”が重要となる。さらに、自転車の空気抵抗は速度の二乗に比例して増加するため、空気抵抗を低減するための“姿勢”も同様に重要となる。よって、ペダルに上手に力を伝える“こぎ方”と空気抵抗を小さくする“姿勢”という 2 つから構成されるペダリング動作が競技成績に大きく影響を及ぼすとされているが、練習過程